

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																					
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )																					
	3 目	農業振興費		(4)	林業経営の効率化を図る		( )																					
実施計画掲載ページ	P 53		中 事 業	ニホンジカ農作物被害防止対策費																								
事業コード	003-004-004-01313	事業名	農作物有害鳥獣捕獲事業																									
目的及び事業内容	<p>牡鹿半島では、ニホンジカによる交通事故、農林業被害が増加しており、最近では半島外の地域でもニホンジカが原因とみられる農林業被害の情報も寄せられている。そのため、ニホンジカ被害の軽減、被害区域拡大の防止のため、宮城県猟友会石巻支部及び河北支部に有害鳥獣捕獲業務を委託し、宮城県ニホンジカ管理計画に基づき、年間捕獲頭数1700頭を目標に捕獲圧を高め、被害の軽減、防止に努める。</p> <p>また、河北、河南、北上、桃生においてはカルガモやカラス等の予察捕獲を実施し、農作物の被害防止に努める。</p>																											
取組実績	<p>1 石巻市有害鳥獣捕獲業務（ニホンジカ）</p> <p>(1) 宮城県猟友会石巻支部（石巻警察署管内）</p> <p>委託料 12,841,581円（有害鳥獣捕獲業務）</p> <p>委託期間 平成31年4月26日～令和2年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>稲井地区</td> <td>渡波地区</td> <td>荻浜地区</td> <td>牡鹿地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>63頭</td> <td>39頭</td> <td>19頭</td> <td>313頭</td> <td>434頭</td> </tr> </table> <p>(2) 宮城県猟友会河北支部（河北警察署管内）</p> <p>委託料 11,151,184円（有害鳥獣捕獲業務）</p> <p>委託期間 平成31年4月26日～令和2年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>河北地区</td> <td>雄勝地区</td> <td>桃生地区</td> <td>北上地区</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>105頭</td> <td>50頭</td> <td>28頭</td> <td>25頭</td> <td>208頭</td> </tr> </table>								稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計	63頭	39頭	19頭	313頭	434頭	河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計	105頭	50頭	28頭	25頭	208頭
	稲井地区	渡波地区	荻浜地区	牡鹿地区	合計																							
	63頭	39頭	19頭	313頭	434頭																							
	河北地区	雄勝地区	桃生地区	北上地区	合計																							
105頭	50頭	28頭	25頭	208頭																								
<p>2 ニホンジカ搬入処理業務（解体処理施設までシカを搬入する業務）</p> <p>委託料 1,971,831円</p> <p>委託期間 平成31年4月26日～令和2年2月20日</p> <table border="1"> <tr> <td>支部名</td> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>頭数</td> <td>123頭</td> <td>46頭</td> <td>169頭</td> </tr> <tr> <td>総重量</td> <td>4,354kg</td> <td>3,565kg</td> <td>7,919kg</td> </tr> </table>								支部名	石巻支部	河北支部	合計	頭数	123頭	46頭	169頭	総重量	4,354kg	3,565kg	7,919kg									
支部名	石巻支部	河北支部	合計																									
頭数	123頭	46頭	169頭																									
総重量	4,354kg	3,565kg	7,919kg																									
<p>3 石巻市鹿除去処理作業業務（民有地の網や住民の要望により設置した罾に絡まったニホンジカの処理）</p> <p>委託料 10,515,120円（単価契約）</p> <p>委託期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>石巻支部</td> <td>河北支部</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>128回</td> <td>663回</td> <td>791回</td> </tr> </table>								石巻支部	河北支部	計	128回	663回	791回															
石巻支部	河北支部	計																										
128回	663回	791回																										
<p>4 農作物有害駆除業務（河北、河南、北上、桃生地区）</p> <p>委託料 1,244,820円</p> <p>委託期間 平成31年4月1日～令和元年10月31日</p> <table border="1"> <tr> <td>カルガモ</td> <td>カラス</td> <td>キジバト</td> <td>スズメ</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>214羽</td> <td>170羽</td> <td>19羽</td> <td>23羽</td> <td>426羽</td> </tr> </table>								カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計	214羽	170羽	19羽	23羽	426羽											
カルガモ	カラス	キジバト	スズメ	合計																								
214羽	170羽	19羽	23羽	426羽																								
成 果	<p>計画的なニホンジカ駆除の実施等により、被害の軽減と被害区域拡大の防止が図られた。なお、東日本大震災の影響により、詳細な被害状況は把握できていないが、有害捕獲による効果があったものと思われる。</p>																											
成果に係る評価	<p>令和元年度も昨年度と同様に、有害鳥獣捕獲業務を2支部各50日間の計100日間実施したが、9月に発生した台風19号災害により、被災した林道に入らなかったため、有害鳥獣捕獲業務での捕獲頭数は昨年度より減少した。しかし、鹿除去処理作業業務において、くくりわなに捕まった多くのシカを処理したため、全体の捕獲頭数は昨年度よりも208頭増加した。また、石巻市管内に存在する2カ所の解体処理施設を活用することによって、捕獲後のシカの適正な処理への推進につながった。依然として農作物への被害があることから、有害鳥獣捕獲業務を継続して取り組む必要がある。</p>																											
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																							
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	37,724,536		37,724,536		11,660,764			26,063,772																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )	
	3 目	農業振興費		(4)	林業経営の効率化を図る		( )	
実施計画掲載ページ	P 53		中 事 業	ニホンジカ農作物被害防止対策費				
事業コード	003-004-004-01313	事業名	ニホンジカ生息数・動態調査委託研究事業					
目的及び事業内容	<p>牡鹿半島地区では、ニホンジカによる交通事故や農林業被害が増加しており、近年は牡鹿半島外の地区においてもニホンジカが原因とみられる食害等の農林業被害の情報も寄せられている。ニホンジカによる農作物被害の対策におけるニホンジカの生息数・動態の把握は、ニホンジカ対策事業の効果を図るうえで極めて重要であり、ニホンジカの動態を知ることによってニホンジカの捕獲業務をより効率的に実施することができる。本業務は、暗視カメラやGPS発信器を用いてニホンジカの生息数及び動態を調査する。また、DNA調査による生息数の確認や、切歯から年齢を測定することにより、ニホンジカ捕獲業務の効果を確認する業務である。</p>							
取組実績	<p>1 暗視カメラによる定点撮影調査</p> <p>牡鹿半島の針浜、谷川、牧ノ崎、黒崎地区4カ所に暗視カメラ各々16台から20台を設置し、21日から25日間撮影を行った。</p> <p>結果：各地域の生息数密度から算出された、牡鹿半島内のニホンジカの生息頭数は2,698頭と推定される。</p>							
	<p>2 GPS発信器による動態調査</p> <p>昨年度に捕獲しシカ用首輪型GPS発信器を装着したニホンジカ4頭に加え、今年度は黒崎地区のニホンジカの生息域を調査するため牡鹿半島内のニホンジカ1頭にシカ用首輪型GPS発信器を装着し黒崎地区の牧場付近に放した。</p> <p>結果：昨年度に捕獲したニホンジカは昨年度同様、山林の草地に隣接した限定的な区域に生息していた。また、今年度、十八成浜で捕獲したニホンジカにシカ用首輪型GPS発信器を装着し黒崎地区に放したところ、捕獲時の傷が治癒した頃、捕獲された際に居た十八成浜地区に戻り、群れに合流したことから、捕獲した十八成浜に集団で生息していたことが判明した。</p>							
	<p>3 ミトコンドリアDNAおよびマイクロサテライトの遺伝子による牡鹿半島内外のシカの動態調査</p> <p>牡鹿半島内及びその近郊で、捕獲されたニホンジカ105個体を解析。昨年度捕獲された117個体と合わせて222個体を用いた。昨年度と同様、五葉山系と牡鹿半島系の系統に分類し、進出傾向を確認した。</p> <p>結果：マイクロサテライト(オス)の解析から、牡鹿半島系のオスシカは北上川南岸、五葉山系のオスシカは牡鹿半島への進出が確認されている。ミトコンドリアDNA(メス)の解析から、牡鹿半島系のメスシカは気仙沼市、五葉山系のメスシカは北上川北岸及び登米市に進出していることが確認された。</p> <p>以上のことからニホンジカの生息域が拡大していることが判明した。</p>							
	<p>4 牡鹿半島内外で行われている狩猟圧の検証と半島内外の食性の検証</p> <p>一般狩猟及び、有害駆除で捕獲されたニホンジカの下顎の第一切歯を使用し、歯の磨滅度等で齢を測定。また、牡鹿半島内外で捕獲された個体の平均的な体長を比較。</p> <p>結果：過去10年間の捕獲された個体の平均体長を比較すると、牡鹿半島内のニホンジカは牡鹿半島外のニホンジカよりも10cm程度小さいことが判明した。また、歯の磨滅度は牡鹿半島内のニホンジカが高くなっており、食性が悪いことがわかる。さらに狩猟の効率化によりニホンジカの若年化が進んでいるため、昨年度と比較すると磨滅度は減少していた。</p>							
成 果	<p>昨年度同様にニホンジカの推定生息数を把握でき、歯の磨滅度の状況、個体の若年化等から狩猟の効果や地域の対策協議会の被害防除対策の効果を確認することができた。また、生息域の拡大状況も確認できたため、今後の捕獲活動に活かすことで更なる捕獲の効率化が期待される。</p>							
成果に係る評価	<p>本事業の成果を有害捕獲等事業の委託先である宮城県猟友会石巻支部及び河北支部や関係団体と共有することで、捕獲の効率化や被害防除対策の向上を図ることが可能である。今後も業務を行い、ニホンジカの生息域の状況や、地域ごとの体長や歯の磨滅度から確認できる捕獲圧の把握を継続していく必要がある。また、動態調査で確認された気仙沼市や登米市への生息域の拡大は、本市での捕獲頭数の増加や被害防除対策の効果により、市外で安全に食物を豊富に得られる地域へ移動している点も加味できる。そのため、生息域拡大後の処置（他市町との連携による広域的な捕獲等）が最重要項目と思慮できる。</p>							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	3,300,000		3,300,000					3,300,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																																													
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )																																													
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		( )																																													
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業	農業振興対策費																																																
事業コード	003-004-001-00169	事 業 名	みやぎの水田農業改革支援事業																																																	
目的及び事業内容	米の需給調整に係る集団転作に取り組む農業法人や集落営農組織等を対象とし、作業の効率化及び適期作業による品質向上を図るための作業機械導入経費の軽減を目的に、宮城県と本市が補助金を交付する。																																																			
取組実績	<p>転作用機械を導入する補助対象事業者（10組織）に対し、県補助金（4/10）に市が5%嵩上げた補助金を交付し、作業機械導入経費の軽減を図った。</p> <p>1 事業実施主体数：10組織 2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>作付品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 (株) クリーンライス</td> <td>大豆・麦・水稻</td> <td>河北</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> <tr> <td>2 (農) 舟形アグリ</td> <td>大豆・麦・水稻</td> <td>河北</td> <td>レーザーレベラー 1台 他</td> </tr> <tr> <td>3 吉野岩崎水田利用組合</td> <td>大豆・麦</td> <td>河北</td> <td>ハイクリフーム 1台</td> </tr> <tr> <td>4 (農) じょうぼん</td> <td>大豆・麦</td> <td>河北</td> <td>汎用乾燥機 1台 他</td> </tr> <tr> <td>5 (農) 朝日の郷</td> <td>大豆・麦・水稻</td> <td>河南</td> <td>ドローン 1台</td> </tr> <tr> <td>6 北村営農組合</td> <td>大豆・水稻</td> <td>河南</td> <td>汎用コンバイン 1台 他</td> </tr> <tr> <td>7 (株) 入沢ファーム</td> <td>大豆・麦</td> <td>桃生</td> <td>汎用コンバイン 1台 他</td> </tr> <tr> <td>8 (株) JKファーム</td> <td>麦・水稻</td> <td>桃生</td> <td>色彩選別機 1台</td> </tr> <tr> <td>9 (有) 高須賀農産</td> <td>大豆・麦・水稻</td> <td>桃生</td> <td>アッパーローター 1台 他</td> </tr> <tr> <td>10 (農) ゆいっこ</td> <td>大豆</td> <td>北上</td> <td>大豆乾燥機 1台 他</td> </tr> </tbody> </table>								事業実施主体	作付品目	地区	導入機械	1 (株) クリーンライス	大豆・麦・水稻	河北	レーザーレベラー 1台 他	2 (農) 舟形アグリ	大豆・麦・水稻	河北	レーザーレベラー 1台 他	3 吉野岩崎水田利用組合	大豆・麦	河北	ハイクリフーム 1台	4 (農) じょうぼん	大豆・麦	河北	汎用乾燥機 1台 他	5 (農) 朝日の郷	大豆・麦・水稻	河南	ドローン 1台	6 北村営農組合	大豆・水稻	河南	汎用コンバイン 1台 他	7 (株) 入沢ファーム	大豆・麦	桃生	汎用コンバイン 1台 他	8 (株) JKファーム	麦・水稻	桃生	色彩選別機 1台	9 (有) 高須賀農産	大豆・麦・水稻	桃生	アッパーローター 1台 他	10 (農) ゆいっこ	大豆	北上	大豆乾燥機 1台 他
	事業実施主体	作付品目	地区	導入機械																																																
1 (株) クリーンライス	大豆・麦・水稻	河北	レーザーレベラー 1台 他																																																	
2 (農) 舟形アグリ	大豆・麦・水稻	河北	レーザーレベラー 1台 他																																																	
3 吉野岩崎水田利用組合	大豆・麦	河北	ハイクリフーム 1台																																																	
4 (農) じょうぼん	大豆・麦	河北	汎用乾燥機 1台 他																																																	
5 (農) 朝日の郷	大豆・麦・水稻	河南	ドローン 1台																																																	
6 北村営農組合	大豆・水稻	河南	汎用コンバイン 1台 他																																																	
7 (株) 入沢ファーム	大豆・麦	桃生	汎用コンバイン 1台 他																																																	
8 (株) JKファーム	麦・水稻	桃生	色彩選別機 1台																																																	
9 (有) 高須賀農産	大豆・麦・水稻	桃生	アッパーローター 1台 他																																																	
10 (農) ゆいっこ	大豆	北上	大豆乾燥機 1台 他																																																	
成 果	10組織において、転作用機械を導入し、麦、大豆等の栽培における生産規模が拡大した。また、機械の導入により、作業効率の向上による適期作業の確立や、品質向上が図られ販売額が増加した。																																																			
成果に係る評価	米の需給調整としての転作は必要不可欠な取組であり、担い手への農地集積と、麦・大豆・飼料作物を団地として生産することが求められている。作業機械の導入による適期作業体系の構築が必要であることから、補助事業を活用した結果、適期での播種・防除・刈取りの体系が強化され、水田の多面的・効果的な活用と、生産物の品質・収穫量の向上体制が図られた。今後水田をフル活用するため、継続して事業を推進する必要がある。																																																			
(単位：円)																																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	35,330,000	35,330,000	31,409,000			3,921,000																																														

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )															
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )															
	3 目	農業振興費		(1)	効率的な高生産性農業を確立する		( )															
実施計画掲載ページ		P47	中 事 業	農業振興対策費																		
事業コード	003-004-001-00168	事 業 名	園芸特産重点強化整備事業																			
目的及び事業内容	園芸生産用施設・設備の導入等により、園芸特産物の安定的な供給を支える担い手の育成・確保を図りながら、組織化による集落農業の実践を進め、高品質で収益性の高い作物の計画的な生産出荷を可能とする産地を育成することを目的とする。																					
取組実績	<p>園芸作物栽培に係る施設・機械を導入する補助対象事業者に対し、県補助金（1/3）に市が5%嵩上げた補助金を交付した。</p> <p>1 事業実施主体数：2組織（6戸） 2 導入施設及び機械</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>作付品目</th> <th>地区</th> <th>導入機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1 (農) 水沼ファーム</td> <td rowspan="3">えだめ</td> <td rowspan="3">石巻</td> <td>えだめ定量袋詰機 2台</td> </tr> <tr> <td>野菜用高速脱水機 1台</td> </tr> <tr> <td>野菜用フレハブ冷蔵庫 1台 蓄冷剤用急速凍結専用庫 1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 桃生町園芸生産者連絡協議会</td> <td rowspan="2">小ネギ ガーベラ</td> <td rowspan="2">桃生</td> <td>高断熱外張フィルム張替工事 2棟 電動播種機 4台</td> </tr> </tbody> </table>								事業実施主体	作付品目	地区	導入機械	1 (農) 水沼ファーム	えだめ	石巻	えだめ定量袋詰機 2台	野菜用高速脱水機 1台	野菜用フレハブ冷蔵庫 1台 蓄冷剤用急速凍結専用庫 1台	2 桃生町園芸生産者連絡協議会	小ネギ ガーベラ	桃生	高断熱外張フィルム張替工事 2棟 電動播種機 4台
	事業実施主体	作付品目	地区	導入機械																		
1 (農) 水沼ファーム	えだめ	石巻	えだめ定量袋詰機 2台																			
			野菜用高速脱水機 1台																			
			野菜用フレハブ冷蔵庫 1台 蓄冷剤用急速凍結専用庫 1台																			
2 桃生町園芸生産者連絡協議会	小ネギ ガーベラ	桃生	高断熱外張フィルム張替工事 2棟 電動播種機 4台																			
			成 果	<p>〈水沼ファーム〉 機械の導入により、出荷作業を効率よく行い、収穫適期に良質なものをより多く出荷できるため、安定した産地として市場評価を高めることができた。</p> <p>〈桃生町園芸生産者連絡協議会〉 電動播種機については、生産管理の省力化と周年安定栽培の定着、外張りフィルムについては採光性と保温性が確保されることで、加温に係るコスト削減と冬期間の採花本数の安定化を図り、高品質・安定産地として市場評価を高めることができた。</p>																		
成果に係る評価	農産物生産においては、産地間競争が激しくなっており、この競争を勝ち抜くためには、生産量の増大と省力化による安定生産、コスト削減が必須となっている。このことから、機械の導入や施設整備により生産力の向上や省力化に結びつき、収益性の高い経営が図られており、本市における生産者の高収益性経営を目指すため、継続して事業を推進していく必要がある。																					
(単位：円)																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	4,761,000	4,761,000	4,141,000			620,000																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )	
	3 目	農業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		( )	
実施計画掲載ページ		P 50	中 事 業	農業振興対策費				
事業コード		003-004-002-01065	事 業 名	担い手育成総合支援事業（農林業）				
目的及び事業内容		本市の第一次産業においては、後継者不足等の理由により就業者の減少が続いている。新たな担い手を確保するために、新規就農者への就農支援助成金や支援拠点となる施設整備等の管理運営を実施する。						
取組実績		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 農地の賃借に要する経費として、認定新規就農者1名に18,350円を助成した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 新・農業人フェア等のマッチングイベントに3回参加し本市のPR活動を実施した。フェイスブック等のSNSで募集を行い、農業担い手センターを活用した本市農業の座学によるプログラムを4回開催し、29人参加した。 また、地域体験型農業研修プログラムを4回開催し15人参加した。 ホームページの更新やパンフレットの増刷、シェアハウスの改修等を行った。</p>						
成 果		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 認定新規就農者の農地の賃借に要する経費の負担を軽減して、就農経営の改善に寄与した。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 市外からの6人が市内の法人等に就農し、そのうち3名が桃生地区、1名が北上地区へのシェアハウスに入居した。 また、電話やWEB、電子メールでの問い合わせも増加しており、継続的な就農相談を実施することで移住を伴う就農者を受け入れることができた。</p>						
成果に係る評価		<p>1 新規就農者独立支援事業（補助金） 助成対象となる認定新規就農者等を拡充する事業と連携して、更なる制度運営の充実を図る。</p> <p>2 農業担い手センター運営事業（委託料） 地道な活動を行うことで移住が伴う就農に繋がることから、今後もマッチングイベント等でのPR活動や就農相談会を継続し、地元農業法人等の就農先との連携を図りながら新たな担い手確保に努める。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	15,300,000		14,768,365					14,768,365

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																							
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立する		( )																							
	4 目	畜産費		(3)	環境にやさしい農業を推進する		( )																							
実施計画掲載ページ		P 51	中 事 業	堆肥センター関係費																										
事業コード		003-004-003-00170	事 業 名	有機センター施設整備事業																										
目的及び事業内容		石巻市内4カ所の堆肥センターにおける畜産廃棄物を適正に処理し、良質堆肥を生産するための設備、機械を整備・更新することにより、畜産農業・耕種農業、実需者及び消費者の連携した資源循環型農業の推進を図る。																												
取組実績		<p>設備、機械（車両）の更新を実施した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>施設名</th> <th>設備、機械名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">修繕</td> <td>北上堆肥センター</td> <td>エアコン修繕</td> <td>40,932円</td> </tr> <tr> <td>大谷地堆肥センター</td> <td>堆肥舎屋根・引き戸・換気巻上修繕</td> <td>11,000,000円</td> </tr> <tr> <td>かなん有機センター</td> <td>攪拌機キャリア製作、袋詰装置供給ホッパー入替下部ライニング及び自動計量袋詰機内面ライニング</td> <td>1,151,700円</td> </tr> <tr> <td>備品</td> <td>北上堆肥センター</td> <td>家畜尿処理用バキュームカー購入 エンジン式フォークリフト購入</td> <td>7,891,070円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合 計</td> <td>20,083,702円</td> </tr> </tbody> </table>								施設名	設備、機械名	金額	修繕	北上堆肥センター	エアコン修繕	40,932円	大谷地堆肥センター	堆肥舎屋根・引き戸・換気巻上修繕	11,000,000円	かなん有機センター	攪拌機キャリア製作、袋詰装置供給ホッパー入替下部ライニング及び自動計量袋詰機内面ライニング	1,151,700円	備品	北上堆肥センター	家畜尿処理用バキュームカー購入 エンジン式フォークリフト購入	7,891,070円	合 計			20,083,702円
	施設名	設備、機械名	金額																											
修繕	北上堆肥センター	エアコン修繕	40,932円																											
	大谷地堆肥センター	堆肥舎屋根・引き戸・換気巻上修繕	11,000,000円																											
	かなん有機センター	攪拌機キャリア製作、袋詰装置供給ホッパー入替下部ライニング及び自動計量袋詰機内面ライニング	1,151,700円																											
備品	北上堆肥センター	家畜尿処理用バキュームカー購入 エンジン式フォークリフト購入	7,891,070円																											
合 計			20,083,702円																											
成 果		老朽化した設備（堆肥舎屋根、引き戸、換気巻上、攪拌機キャリア、袋詰装置）の修繕により、衛生的に管理を行えるようになり、畜産廃棄物の処理及び生産性の向上、畜産農業と耕種農業との耕畜連携を促しながら製品出荷体制の強化が図られた。																												
成果に係る評価		老朽化した設備、機械を更新することにより、各有機センター施設の健全な運営が図られた。今後も、安全面や衛生面を考慮した施設改善を行い、有機資源を循環させながら農産物を生産する営みが、地力を維持し、持続性が高い理想的な農業体系を維持するために必要であり効率的な資源循環型農業の推進を図る。																												
（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																									
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	20,782,400		20,083,702					20,083,702																						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元 気産業を創造するまち	復興計画	( )		
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立 する		( )		
	5 目	農地費		(3)	環境にやさしい農業を 推進する		( )		
実施計画 掲載ページ	P 52		中 事 業	土地改良事業関係助成費					
事業コード	003-004-003-00181		事 業 名	多面的機能支払交付金事業					
目的及び事業内容	<p>農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を行う。</p> <p>対象区域（管内一円） 7,369ha 交付先：蛇田保全隊 ほか17活動組織 事業期間 令和元年度～令和5年度</p>								
取組実績	以下の活動組織において、次の活動を行った。								
	1 農地維持活動（水路の草刈、泥上げ、農道の路面維持等）								
	2 資源向上活動（水路、農道等の軽微な補修、草花の植栽等）								
			R1	H30	対象 農地面積		R1	H30	対象 農地面積
	組織名	参加人数	参加人数		組織名	参加人数	参加人数		対象 農地面積
	蛇田	1,047人	1,100人	17,829 a	広淵	2,762人	2,773人	66,437 a	
	稲井	1,035人	2,501人	62,987 a	須江	2,845人	2,935人	39,510 a	
	小船越	3,469人	2,823人	53,806 a	北村	2,458人	2,621人	31,863 a	
	飯野・成田	1,619人	1,694人	35,232 a	中津山1	6,967人	4,196人	57,306 a	
	二俣	2,243人	2,201人	36,707 a	中津山2	2,128人	2,179人	30,073 a	
	飯野川	2,605人	2,669人	25,670 a	桃生1	1,374人	1,463人	31,536 a	
	北上	576人	715人	19,295 a	太田	1,536人	1,507人	30,803 a	
	前谷地	3,565人	3,663人	48,841 a	大川	796人	606人	24,246 a	
和淵	2,977人	3,006人	49,049 a						
鹿又	3,753人	3,796人	75,723 a	合 計	43,755人	42,448人	736,913 a		
成 果	<p>地域の各団体が総意をもって地域共同活動として取り組み、地域環境保全、景観形成及び水田農業の持続的な発展など、今後高齢化が進む上で農家・非農家問わず住民が積極的に参加する自覚が芽生えている。</p> <p>また、地域の子供達が参加し、生き物調査を行うなど、地域の身近な自然についての学習も行っており、自然環境等の意識向上が図られた。</p>								
成果に係る評価	<p>地域が一体となって、身近な環境の維持、保全管理を推進する上で重要な事業であり、今後も持続的に事業が継続されるよう取り組み必要がある。</p> <p>平成26年6月に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年度から施行されたため、安定的な制度となった。</p> <p>本年度が多面的機能支払交付金としての新たな活動計画の初年度となる。各活動組織において各階層の様々な議論の中で昨年度作成した「地域資源保全管理構想」に基づき、新たな5か年の活動計画にも着手し、本交付金の活用により持続的な地域資源の適切な保全管理が行われることが期待される。</p>								
（単位：円）									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源			
	198,659,000	198,658,070	148,993,547			49,664,523			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元 気産業を創造するまち	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、 自然とともに生きる	
	1 項	農業費		第4節	魅力的な農林業を確立 する		(3)	大地とともに生きる	
	9 目	東日本大震災関係費		(1)	効率的な高生産性農業 を確立する		(1)	被災農林業への再建支援	
実施計画 掲載ページ	P 49、P 202		中 事 業	農業復興推進費					
事業コード	003-004-001-00631 003-301-001-00546		事 業 名	農村地域復興再生基盤総合整備事業（農地整備事業）〔復興基金〕 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）					
目的及び事業内容	<p>東日本大震災により被災した農村地域の復興を目的として農地整備事業を行う。単なる原形復旧だけでなく、大区画化により農地の面的な集積、経営の大規模化・高付加価値を行い、収益性の高い農業経営の実現を目指し、復旧・復興を加速化させる。</p>								
取組実績	地区名		R1主要工事	R1事業費	地区名		R1主要工事	R1事業費	
	広淵沼	暗渠排水工事121.1ha 支線排水路工事5.7km	266,038千円	大川	区画整理工	29.3ha	18,002千円		
	鹿又	暗渠排水工事 27.7ha 支線排水路工事1.7km	96,400千円	北上	区画整理工	18.0ha	21,232千円		
	二俣南	区画整理付帯工一式	8,090千円	飯野川	換地費 一式		3,331千円		
	蛇沼向	区画整理付帯工一式	389千円	牡鹿	区画整理付帯工一式		24,000千円		
	青木川	区画整理付帯工一式	1,224千円						
	青木川2期	区画整理付帯工一式	1,075千円						
	合計	—	373,216千円	合計	—		66,565千円		
	成 果	<p>ほ場区画を拡大するとともに、用排水路の分離・暗渠排水・農道整備等を一体的に整備することにより、ほ場の汎用化・集団化を図り大規模経営の足がかりとなる水田農業の生産性向上と生産コストの低下を図り、地域農業の活性化が図られた。</p>							
	成果に係る評価	<p>担い手が整備された大規模ほ場で、集約的な農業を展開しつつ、優良農地を将来にわたり適切に維持・保全することで、食料自給率を向上させ、農業の多面的機能を十分発揮することができるようになった。</p> <p>また、被災された地域における農地復旧は喫緊の課題であり、関係機関と協議しながらその進め方等を検討している。</p>							
（単位：円）									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源			
	439,781,000	439,781,000				18,660,800	421,120,200		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	復興計画	( )													
	2 項	林業費		第 1 節	豊かな自然を次世代に継承する		( )													
	2 目	林業振興費		( 1 )	自然環境を保全する		( )													
実施計画掲載ページ		P111	中 事 業	松くい虫対策事業費																
事業コード		005-001-001-00187	事 業 名	松くい虫対策事業																
目的及び事業内容																				
<p>松くい虫からの被害拡大を防止し、景観の保全と森林資源の確保を図るため、被害木の伐倒駆除や薬剤の樹幹注入・空中散布による予防を実施する。</p>																				
取組実績																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>事 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松くい虫伐倒駆除事業 石巻、牡鹿、雄勝地区</td> <td>160 本 99.003 m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区</td> <td>272 本</td> </tr> <tr> <td>松くい虫防除事業（空中散布）</td> <td>184.15 ha</td> </tr> <tr> <td>森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除</td> <td>2,114 本 1,055.560 m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>									事 業 名	事 業 量	松くい虫伐倒駆除事業 石巻、牡鹿、雄勝地区	160 本 99.003 m <sup>3</sup>	樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	272 本	松くい虫防除事業（空中散布）	184.15 ha	森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	2,114 本 1,055.560 m <sup>3</sup>		
事 業 名	事 業 量																			
松くい虫伐倒駆除事業 石巻、牡鹿、雄勝地区	160 本 99.003 m <sup>3</sup>																			
樹幹注入剤による松林保全対策事業 石巻、牡鹿地区	272 本																			
松くい虫防除事業（空中散布）	184.15 ha																			
森林育成事業衛生伐（内地・離島）伐倒駆除	2,114 本 1,055.560 m <sup>3</sup>																			
成果																				
<p>貴重な景観の保全、森林・環境資源として、松林の保護並びに山林の荒廃を防止した。</p> <p>松くい虫被害木の業務実施量の推移(被害本数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>業務実施量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2,643本</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,999本</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,500本</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,108本</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>2,274本</td> </tr> </tbody> </table>									年度	業務実施量	H27	2,643本	H28	2,999本	H29	3,500本	H30	4,108本	R1	2,274本
年度	業務実施量																			
H27	2,643本																			
H28	2,999本																			
H29	3,500本																			
H30	4,108本																			
R1	2,274本																			
成果に係る評価																				
<p>適期に伐倒駆除や防除を実施し松くい虫の被害拡大を防ぐことにより、森林の土砂防止機能や水源涵養機能等の多面的機能維持及び森林資源の保護に努めた。</p>																				
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源														
	51,566,000	48,046,039	31,289,146			16,756,893														

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																																																					
	3 項	水産業費		第 3 節	持続的な水産業の発展を図る		( )																																																					
	2 目	水産業振興費		( 1 )	水産資源や水環境の保全・管理に努める		( )																																																					
実施計画掲載ページ		P44	中 事 業	水産振興対策費																																																								
事業コード		003-003-001-00167	事 業 名	密漁対策助成事業																																																								
目的及び事業内容																																																												
<p>広域的・組織的に行われているアワビ・ウニの密漁を防止するため、宮城県中部東海区（雄勝・牡鹿地区、女川町）に位置する宮城県漁業協同組合各支所及び牡鹿漁業協同組合で宮城県中部東海区密漁対策委員会を組織。 同委員会に対し、共同監視事業に従事する監視船及び陸上監視所の活動経費の一部を補助し、沿岸水産資源の保護及び漁家経営の安定を図る。</p>																																																												
取組実績																																																												
<p>1 宮城県中部東海区密漁対策委員会による広域密漁監視活動実施状況 (金額：円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施漁協(支所)名</th> <th colspan="2">年間監視実績</th> <th rowspan="2">監視に要した年間経費</th> <th rowspan="2">補助金配分額</th> </tr> <tr> <th>日数</th> <th>時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船</td> <td>152</td> <td>795.0</td> <td>8,990,453</td> <td>石巻市 1,195,331</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協女川町支所(出島)監視船、監視所</td> <td>130</td> <td>900.0</td> <td>3,752,182</td> <td>女川町 239,826</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協女川町支所(江島)監視船、監視所</td> <td>345</td> <td>2,629.5</td> <td>16,684,491</td> <td>女川町 1,260,174</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協寄磯前網支所 監視船</td> <td>168</td> <td>443.5</td> <td>2,262,924</td> <td>石巻市 461,823</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協谷川支所(泊浜) 監視船</td> <td colspan="4">アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。</td> </tr> <tr> <td>牡鹿漁協 監視船</td> <td>129</td> <td>618.0</td> <td>5,777,241</td> <td>石巻市 1,042,846</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協網地島支所 監視船</td> <td colspan="4">震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。 また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあたっては、R元年度、監視活動は実施していない。</td> </tr> <tr> <td>宮城県漁協浜浜支所 監視船</td> <td colspan="4">監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。 R元年度、監視活動は実施していない。</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>924</td> <td>5,386.0</td> <td>37,467,291</td> <td>石巻市 2,700,000 女川町 1,500,000</td> </tr> </tbody> </table>									実施漁協(支所)名	年間監視実績		監視に要した年間経費	補助金配分額	日数	時間	宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船	152	795.0	8,990,453	石巻市 1,195,331	宮城県漁協女川町支所(出島)監視船、監視所	130	900.0	3,752,182	女川町 239,826	宮城県漁協女川町支所(江島)監視船、監視所	345	2,629.5	16,684,491	女川町 1,260,174	宮城県漁協寄磯前網支所 監視船	168	443.5	2,262,924	石巻市 461,823	宮城県漁協谷川支所(泊浜) 監視船	アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。				牡鹿漁協 監視船	129	618.0	5,777,241	石巻市 1,042,846	宮城県漁協網地島支所 監視船	震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。 また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあたっては、R元年度、監視活動は実施していない。				宮城県漁協浜浜支所 監視船	監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。 R元年度、監視活動は実施していない。				合 計	924	5,386.0	37,467,291	石巻市 2,700,000 女川町 1,500,000
実施漁協(支所)名	年間監視実績		監視に要した年間経費	補助金配分額																																																								
	日数	時間																																																										
宮城県漁協雄勝町東部支所 監視船	152	795.0	8,990,453	石巻市 1,195,331																																																								
宮城県漁協女川町支所(出島)監視船、監視所	130	900.0	3,752,182	女川町 239,826																																																								
宮城県漁協女川町支所(江島)監視船、監視所	345	2,629.5	16,684,491	女川町 1,260,174																																																								
宮城県漁協寄磯前網支所 監視船	168	443.5	2,262,924	石巻市 461,823																																																								
宮城県漁協谷川支所(泊浜) 監視船	アワビ漁解禁前の1ヶ月間及び他支所からの要請により、組合員所有船で監視活動を実施していたが、運航経費の問題から監視活動は実施していない。																																																											
牡鹿漁協 監視船	129	618.0	5,777,241	石巻市 1,042,846																																																								
宮城県漁協網地島支所 監視船	震災後、運航要員である組合員の高齢化や運航経費問題から常時監視活動は実施していない。 また、小型船のため夜間の監視活動は困難である。監視活動は同じ網地島に係留する牡鹿漁協の監視船から要請があった場合補助にあたっては、R元年度、監視活動は実施していない。																																																											
宮城県漁協浜浜支所 監視船	監視船第七JFみやぎ丸(1.9トン)は小型船のため夜間の監視活動は困難である。 R元年度、監視活動は実施していない。																																																											
合 計	924	5,386.0	37,467,291	石巻市 2,700,000 女川町 1,500,000																																																								
成果																																																												
<p>組合員の高齢化や運航経費の負担などにより監視活動を実施していない漁協支所があるものの、復旧した監視船、監視所による監視活動を行った結果、不審船を発見し、追尾により漁場外に追い出すなど、密漁行為を未然に防止した。 また、これによって密漁船の出没自体も減少している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初計画</th> <th>実績</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ監視日数</td> <td>1,071日</td> <td>924日</td> <td>86.3%</td> </tr> <tr> <td>延べ監視時間</td> <td>6,631時間</td> <td>5,386時間</td> <td>81.2%</td> </tr> </tbody> </table>										当初計画	実績	割合	延べ監視日数	1,071日	924日	86.3%	延べ監視時間	6,631時間	5,386時間	81.2%																																								
	当初計画	実績	割合																																																									
延べ監視日数	1,071日	924日	86.3%																																																									
延べ監視時間	6,631時間	5,386時間	81.2%																																																									
成果に係る評価																																																												
<p>三陸沿岸域で横行するウニ・アワビ等磯根資源の密漁防止に向けた取組は、震災前から行われていたが、震災後は多くの住民が浜から離れたため、夜間に漁業者の監視の目が届かない状況となっている。巧妙に行われる密漁を防止するにあたって、密漁監視船・監視所の継続的な夜間の監視活動が不可欠であり、密漁船の出没減少に繋がっている。 監視活動に係る人件費、燃料費及び船や監視施設の老朽化等に伴う維持管理経費等の活動経費負担が実施主体の大きな負担となっていることから、本市沿岸水産資源の保護、漁家経営の安定のためには、継続して支援を行っていく必要がある。</p>																																																												
(単位：円)																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	2,700,000	2,700,000				2,700,000																																																						

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		( )	
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		( )	
実施計画掲載ページ		P 46	中 事 業	捕鯨復活活動事業費				
事業コード		003-003-005-00164	事 業 名	捕鯨復活活動事業				
目的及び事業内容		<p>商業捕鯨再開を望む自治体の意志の表れとしてこれまで各種事業に参加してきたところだが、平成30年12月、IWCが形骸化していることを受け、日本政府としてIWCからの脱退を表明したことに伴い、令和元年7月から商業捕鯨が再開された。</p> <p>商業捕鯨再開後の捕鯨政策がどのようになるかは不明な点も多いが、市長が、捕鯨を守る全国自治体連絡協議会の副会長を務めており、捕鯨関係自治体と連携して、沿岸小型捕鯨の保護に向けた活動を継続して実施していく。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会への参加</li> <li>・ 捕鯨に関連した行事への参加又は開催</li> <li>・ 政府、政党の開催する捕鯨関連会議等への参加及び陳情等</li> </ul>						
取組実績		<p>捕鯨再開のため、全国の捕鯨に縁のある自治体（34団体）で「捕鯨を守る全国自治体連絡協議会」を構成し、本市は、我が国沿岸捕鯨の主要基地港を有することから、副会長を務めている。令和元年7月に再開された商業捕鯨を後押しするとともに、沿岸小型捕鯨の保護に資するための活動に参画する。</p> <p>令和元年度は全国鯨フォーラム2019東京に出席した。</p> <p>（総会、鯨フォーラム等のイベント参加、その他）</p> <p>全国鯨フォーラム2019東京 外5回 （内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月 捕鯨の伝統と食文化を守る会（東京都千代田区）</li> <li>7月 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会総会（東京都千代田区）</li> <li>7月 令和元年度釧路沖商業捕鯨出港式（北海道釧路市）</li> <li>10月 商業捕鯨再開に伴う意見交換及び鯨肉試食会（東京都千代田区）</li> <li>10月 全国鯨フォーラム2019東京（東京都品川区）</li> <li>1月 「鯨と捕鯨文化」の日本遺産登録共同申請</li> <li>2月 捕鯨に関する懇親会（東京都千代田区）</li> </ul>						
成 果		<p>IWCの脱退を機に令和元年7月には商業捕鯨が再開された。</p> <p>令和元年10月に東京で開催された全国鯨フォーラムでは商業捕鯨再開に伴う国の支援、関係自治体及び業界が一丸となって鯨文化を継承するために鯨肉の消費拡大に向けた基調講演が行われた。</p> <p>また、令和2年1月には、日本各地に根付く鯨文化の価値を再認識し、国内外に発信することで商業捕鯨の発展、各地の地域活性化を目的として、本市を含む8道県13市町合同による「鯨と捕鯨文化」の日本遺産登録に向けた申請を行った。</p>						
成果に係る評価		<p>IWCが形骸化していることを受け、日本政府としてIWCからの脱退を表明したことに伴い、令和元年7月から商業捕鯨が再開されたことから、結果として、捕鯨復活活動事業としては目的は果たしたが、今後は捕鯨文化の継承のために関係団体と連携を密にするとともに、令和3年度には、石巻市での「全国鯨フォーラム」が開催される予定であることから、より一層捕鯨活動の推進を図る必要がある。</p>						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	577,000	489,010			489,010			

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )																																																																									
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		( )																																																																									
	2 目	水産業振興費		(5)	捕鯨の再開と鯨食文化の維持継承を図る		( )																																																																									
実施計画掲載ページ		P 46	中 事 業	鯨食普及事業費																																																																												
事業コード		003-003-005-00165	事 業 名	鯨食普及事業																																																																												
目的及び事業内容		<p>鯨食文化の維持継承及び普及の促進並びに海洋食糧資源の持続的利用の啓発を図るため、市民等を対象として鯨肉頒布等の活動を実施するもの。</p>																																																																														
取組実績		<p>1 住民頒布</p> <table border="1"> <tr> <td>冷凍鯨肉</td> <td>頒布数量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月（石巻合同庁舎 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>299 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>（超低温 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>698 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月（上品の郷 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>332 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12月（超低温 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>881 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>（上品の郷 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>304 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>（石巻合同庁舎 1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>277 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>（北上 歳の市1日）</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>209 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>ミンク鯨赤肉</td> <td>3,000 kg</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 学校給食</p> <p>保育所 年1回、幼稚園、小・中学校 年2回 合計 1,200kg</p>							冷凍鯨肉	頒布数量							8月（石巻合同庁舎 1日）	ミンク鯨赤肉	299 kg							（超低温 1日）	ミンク鯨赤肉	698 kg					9月（上品の郷 1日）	ミンク鯨赤肉	332 kg						12月（超低温 1日）	ミンク鯨赤肉	881 kg							（上品の郷 1日）	ミンク鯨赤肉	304 kg						（石巻合同庁舎 1日）	ミンク鯨赤肉	277 kg						（北上 歳の市1日）	ミンク鯨赤肉	209 kg					全体	ミンク鯨赤肉	3,000 kg					
冷凍鯨肉	頒布数量																																																																															
8月（石巻合同庁舎 1日）	ミンク鯨赤肉	299 kg																																																																														
	（超低温 1日）	ミンク鯨赤肉	698 kg																																																																													
9月（上品の郷 1日）	ミンク鯨赤肉	332 kg																																																																														
12月（超低温 1日）	ミンク鯨赤肉	881 kg																																																																														
	（上品の郷 1日）	ミンク鯨赤肉	304 kg																																																																													
	（石巻合同庁舎 1日）	ミンク鯨赤肉	277 kg																																																																													
	（北上 歳の市1日）	ミンク鯨赤肉	209 kg																																																																													
全体	ミンク鯨赤肉	3,000 kg																																																																														
成 果		<p>令和元年度の鯨肉頒布は、最後の南極海調査捕鯨の副産物であるミンク鯨の頒布を実施した。新聞やテレビで最後の調査捕鯨捕獲鯨肉の頒布であることが報道され、例年以上の方が購入に訪れた。鯨食についての関心の高さが伺えるとともに、本市の実施してきた鯨肉頒布が鯨食普及の一助を担ってきたことを確認することができた。</p> <p>また、学校給食においては年に2回の鯨料理を提供しており、地域産業と文化の理解に努めた。</p>																																																																														
成果に係る評価		<p>令和元年度の頒布会は、宮城県が実施する水産の日の販売会をはじめ7回実施した。</p> <p>令和元年7月から商業捕鯨が再開され、調査捕鯨の副産物としての頒布は最後となったが、鯨食に対する市民の関心も高く、今後も市民が鯨肉を購入できるよう環境を維持する必要がある。</p> <p>本市伝統の鯨食文化は、貴重な地域資源であると同時に海洋食糧資源の持続的利用の典型とされていることから、商業捕鯨とのバランスを保ちながら鯨食普及活動を継続していく必要がある。</p>																																																																														
（単位：円）																																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																										
	7,547,000	7,397,695			7,321,664	76,031																																																																										

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費				( 1 )	海とともに生きる
	2 目	水産業振興費				( 3 )	被災水産業への再建支援
実施計画掲載ページ		P199	中 事 業	水産振興対策費			
事業コード		003-103-002-01117	事 業 名	農林水産物等輸出化販路拡大支援事業			
目的及び事業内容		石巻市の水産物及びその加工品の輸出振興に向けて、海外における石巻ブランドの販路の開拓や一層の輸出数量及び輸出品目の拡大を図るため、事業者が実施する石巻産水産物等の輸出拡大に向けた取組みや、輸出に必要となる衛生管理水準の向上に要する経費を一部助成するもの。					
取組実績		<p>1 令和元年度事業実績（輸出化販路拡大支援事業費助成金） 公募により採択した事業者に対し、支援を行った。 採択 1件（石巻魚市場買受人協同組合） 9,996,000円 【採択内容】 対象国：タイ ・現地市場調査 ・ブランドPR事業 ・現地テスト販売</p> <p>2 水産加工業HACCP等導入支援事業 公募により採択した事業者に対し、支援を行った。 採択 1件（山徳平塚水産） 377,000円 【採択内容】 HACCP認証取得に向けたコンサルティング、認定審査料</p>					
成 果		<p>石巻魚市場買受人協同組合が取り組んだ販路拡大事業は、タイをターゲットとして実施しており、令和元年度事業では、各地のマーケット調査による市場参入の可能性について検証するとともに、実際にテスト販売を行い現地の嗜好性について検証を行った。その結果、今後の輸出拡大における手法を明確化するとともに、協力企業との連携による販路拡大の可能性を見出すことができた。</p> <p>HACCPに関しては、平成29年6月に「食品衛生法等の一部を改正する法律」が公布され、原則としてすべての食品等事業者はHACCPの手法を導入することが義務付けられている。 令和元年度は1社から応募があり採択し、HACCPの認証を受けた。 衛生管理基準の取得企業を増加させることは、本市の水産加工業の基準を底上げするものであり、競争力強化の一助となった。</p>					
成果に係る評価		石巻魚市場への水揚げは、金額では震災前の水準に回復したものの、数量では9割以下の水準に留まっており、原魚高が続いている。水産加工業においては、原料確保、人材不足、販路における課題が依然回復に至っていない。 国内における水産物の需要が減少する中、海外での日本食の需要が増加していることなどから、品質の安全さの証明となる衛生管理基準の取得は必要不可欠なものであり、国内外の販売における競争力強化の一要素となっている。					
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	15,000,000		10,373,000			10,373,000	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 3 章	復興計画	( )	地域資源を活かして元気産業を創造するまち																			
	3 項	水産業費				( )	持続的な水産業の発展を図る																			
	2 目	水産業振興費				( )	水産業者の経営体質の強化を図る																			
実施計画掲載ページ		P45	中 事 業	水産振興対策費																						
事業コード		003-003-003-01115	事 業 名	担い手育成総合支援事業（水産業）																						
目的及び事業内容		本市の基幹産業である水産業は後継者不足等の理由により漁業就業者数の減少が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、新たな担い手を確保するために、空き家等の未利用の建物を活用し、短・中期的に生活できるシェアハウス機能を持った「石巻市水産業担い手センター」を整備し、担い手育成のための事業運営を行う。 また、漁業協同組合等が行う担い手対策に係る経費の一部を補助し、新規就業者の確保・育成を支援する。																								
取組実績		<p>1 水産業担い手センター運営事業 担い手センター事業の実施にあたっては、前年度と同様に一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンへ業務を委託し、事業を実施。同法人は、漁師の担い手育成に寄与することを目的とし、地元若手漁業者などにより組織された団体で、本事業に最適な団体であり、実施に当たっては、地元漁業者の理解・協力が必要であることから、宮城県漁業協同組合との共同事業として実施している。</p> <p>(1) 担い手センターの運営 平成30年度までに整備した担い手センター5か所（荻浜地区、泉町地区、北上地区、渡波地区、雄勝地区）を運営。他県から移住し、漁業に従事する新規就業者の研修期間中～定住先が決定するまでの住まいとして提供した。</p> <p>(2) 短期研修の実施 漁業に興味のある人が実際の漁業作業や生活に触れ、漁師になるために学び、自らの将来を考えるプログラム内容の1泊2日の短期研修を開催した。 ①牧浜・竹浜編 ・日程 令和元年11月30日～12月1日 ・場所 牧浜・竹浜 ・参加者 5名</p> <p>(3) 求人活動の実施 漁業協同組合と連携し、受入れを希望する漁業者の求人情報を収集し、WEBサイトに掲載。また、東京、仙台で開催された漁業就業支援フェアに出展し、就業希望者と面接を行った。</p> <p>2 担い手育成総合支援事業 担い手育成総合支援事業については、漁業協同組合などによる漁業就業支援フェアへの参加費用や新規就業による漁業活動に必要なフォークリフト等の資格取得に要する費用を補助し、新規就業確保活動を支援した。</p>																								
成 果		<p>令和元年度はWEBサイトや求人広告などから58件程度問い合わせがあり、漁師学校参加者など、5名が受入漁業者の下に就業した。 令和元年度末時点では離職した方を除き、20名が引き続き、漁業に従事している。（うち6名がセンターに入居）。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>就業者</th> <th>離職者</th> <th>現就業者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>4人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>9人</td> <td>1人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	就業者	離職者	現就業者	H28	4人	2人	2人	H29	12人	6人	6人	H30	9人	1人	8人	R1	5人	1人	4人
区分	就業者	離職者	現就業者																							
H28	4人	2人	2人																							
H29	12人	6人	6人																							
H30	9人	1人	8人																							
R1	5人	1人	4人																							
成果に係る評価		漁業の担い手確保には地道な活動が必要であり、活動しやすいよう支援をすることが重要である。独立までを見据えると長期的に事業を継続し、実施していく必要がある。 委託事業によるPRなどにより問い合わせも増加傾向にあり、令和元年度は5名が就業し、事業が始まって通算30名が就業した。現在は20名が漁業に従事している。 本事業は漁業、水産業の振興策であるほか、人口が激減した半島沿岸部への移住定住策、人口増加策ともなり、非常に重要な施策である。																								
(単位：円)																										
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
	25,800,000		25,024,918			25,024,918																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	( )	
	3 項	水産業費		第3節	持続的な水産業の発展を図る		( )	
	5 目	漁港建設費		(2)	水産業の基盤整備を図る		( )	
実施計画掲載ページ		P 45	中 事 業		水産物供給基盤機能保全事業費			
事業コード		003-003-002-01231	事 業 名		水産物供給基盤機能保全事業（石巻市事業分）			
目的及び事業内容		本市漁港施設の機能を保全するために必要な日常管理や保全・更新工事を盛り込んだ計画により効率的な維持管理や既存施設の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減及び対策コストの平準化を図る。 ・管理漁港施設の機能保全計画の策定及び保全工事						
取組実績		1 水産物供給基盤機能保全事業 (1) 漁港施設機能保全計画策定業務 (北上（小滝、大指、小指、相川、大室）、小島、大須、水浜分浜、鮫ノ浦、泊、小淵、谷川（谷川、大谷川、祝浜）、新山、給分、小網倉、牧ノ浜、長渡） 予算額 297,000,000円（R1現年） 決算額 23,570,000円（R1現年） 繰越額 273,430,000円（R1現年）						
成 果		老朽化が進行する施設の機能保全コストの更なる縮減を図るものであるが、近年の技術的知見の集積を踏まえ機能保全計画策定業務を実施し、進捗を高めることができた。						
成果に係る評価		本事業は令和元年度より計画策定の取り組みを開始しているが、今後、耐用年数の経過により更新時期を迎える漁港施設等が増加していくことから、計画策定を早期に完了できるよう引き続き適切に取り組むことが重要である。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	23,570,000		23,570,000		11,923,000	10,400,000		1,247,000

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																												
	3 項	水産業費		第 節			(1)	海とともに生きる																												
	6 目	東日本大震災関係費		( )			(3)	被災水産業への再建支援																												
実施計画掲載ページ		P 197	中 事 業		漁業集落防災機能強化事業費																															
事業コード		003-103-001-00544	事 業 名		漁業集落防災機能強化事業〔復興交付金〕																															
目的及び事業内容		東日本大震災により被災した漁業集落について、土地利用の再検討や集落の復興並びに防災機能の強化を図り、生活基盤の復興を推進するため、集落道、避難路、排水路及び水産関係用地等の整備を行うもの。																																		
取組実績		漁業集落防災機能強化事業に係る下記事業等を実施した。 1 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等工事施工等に関する一体的業務 754,541,000円 2 復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等管理支援（その2）業務 211,468,800円 3 漁業集落防災機能強化事業他調査等業務 37,546,200円 4 漁業集落防災機能強化事業他境界杭復元等測量業務 51,839,760円 5 用地取得及び物件等移転補償 33筆、12件																																		
成 果		上記事業の実施により10集落が完成し、被災した集落の復興や防災機能の強化が図られた。 工事請負業者：清水・奥村石巻市復興整備事業半島部防災集団移転促進事業等共同企業体 工事請負金額：6,554,520,000円 ○ 整備集落数																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>漁集事業のみ</th> <th>漁集及び低平地事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象集落</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>完成集落</td> <td>6</td> <td>28</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>うち平成28年度</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>うち平成29年度</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>うち平成30年度</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>うち令和元年度</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>								漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計	対象集落	7	50	57	完成集落	6	28	34	うち平成28年度	2	1	3	うち平成29年度	1	8	9	うち平成30年度	2	10	12	うち令和元年度	1	9	10
	漁集事業のみ	漁集及び低平地事業	計																																	
対象集落	7	50	57																																	
完成集落	6	28	34																																	
うち平成28年度	2	1	3																																	
うち平成29年度	1	8	9																																	
うち平成30年度	2	10	12																																	
うち令和元年度	1	9	10																																	
成果に係る評価		他事業の入札不調による調整や台風19号等自然災害の影響により、当初予定していた工期に遅れが生じたことから、10集落の完成に留まってしまったが、残る未完成集落23においても、引き続き生活基盤や防災安全施設整備を実施し、水産業の復興を推進するため、他事業との連携を図りながら事業を継続し早期完成を目指す。																																		
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
	1,332,173,760		1,304,273,996				972,836,000	331,437,996																												



予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費				( 1 )	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費				( 2 )	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P196	中 事 業	漁港施設機能強化事業費			
事業コード		003-102-001-00415	事 業 名	漁港災害復旧関連事業〔復興交付金〕			
目的及び事業内容		<p>本市が管理する漁港施設のうち、東日本大震災災害復旧事業の対象にならない施設及び災害復旧事業と併せて改良等が必要な施設について整備を行った。</p> <p>・漁港施設機能強化事業による市管理漁港の用地嵩上げほか施設整備一式</p>					
取組実績		<p>災害復旧工事に関連する各種事業を実施し、漁港施設の復旧を図った。</p> <p>1 漁港施設機能強化工事  (1) 災害復旧事業と併せ漁港用地の嵩上げ工事とタラップ及び船揚場滑り材を設置し、施設の復旧を図った。また、施設の維持管理を適切に行うため、漁港台帳の電子化を図った。  ア 泊、北上（大室）漁港防波堤・護岸改良工事及び、長面漁港護岸・船揚場改良工事、小淵土砂運搬、小淵・小網倉コンクリート除去等、長面、船越、明神、水浜分浜、鮫ノ浦、小淵、池ノ浜漁港用地嵩上工事等  予算額 1,042,835,340円（H30繰越276,360,040円、R1現年766,475,300円）  決算額 680,729,038円（H30繰越243,534,400円、R1現年437,194,638円）  繰越額 362,106,302円（H30繰越32,825,640円、R1現年329,280,662円）</p> <p>イ 避難誘導施設整備工事（タラップ、滑り材）  （タラップ：北上（大指）、船越、羽坂、水浜分浜、鮫ノ浦、谷川（谷川、祝浜）、新山、小淵、小網倉、竹ノ浜、蛤浜、滑り材：船越、大須、宇島、小島、明神、谷川）  予算額 70,260,380円（H29繰越13,863,040円、H30繰越29,329,640円、R1現年27,067,700円）  決算額 46,585,180円（H29繰越13,642,720円、H30繰越5,874,760円、R1現年27,067,700円）</p> <p>ウ 漁港施設台帳電子化業務  予算額 48,000,000円（R1現年）  決算額 47,740,000円（R1現年）</p> <p>エ 名振、水浜分浜、小淵漁港用地嵩上工事（県間接補助）  予算額 22,138,440円（H29繰越）  決算額 9,765,960円（H29繰越）</p>					
成 果		水産基盤施設の復旧に努め、漁港施設災害復旧事業及び関連する事業を実施することで沿岸漁業の復旧・復興の進捗が図られた。					
成果に係る評価		水産業施設の復旧及び沿岸漁業の復興を促進するため、引き続き災害復旧事業や関連する各種事業を実施することが重要である。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	821,127,858	784,820,178	7,324,000		585,967,000	191,529,178	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	3 項	水産業費				( 1 )	海とともに生きる
	6 目	東日本大震災関係費				( 2 )	漁港及び魚市場の復旧・復興
実施計画掲載ページ		P196	中 事 業	漁港海岸整備事業費			
事業コード		003-102-001-00533	事 業 名	海岸保全施設整備事業			
目的及び事業内容		<p>本市が管理する漁港海岸のうち、海岸保全施設がなかった海岸において、東日本大震災により新たに設定された津波防護高さによる防潮堤や水門、陸閘等の整備を行うもの。</p> <p>震災以前からある既存の海岸保全施設については災害復旧事業により復旧を行っているが、保全施設のなかった区域や保全施設がない漁港海岸においては本事業で防潮堤等を整備し、津波や高潮からの被害の軽減を図る。</p>					
取組実績		<p>1 海岸保全施設整備事業  (1) 陸閘・水門遠隔監視制御システム工事及び海岸保全施設整備工事等  ア 陸閘・水門遠隔監視制御システム工事（名振、荒、小淵、大原、折ノ浜、給分）及び海岸保全施設整備工事（名振、十八成浜、小淵、折ノ浜）等。  予算額 1,547,668,066円（H29繰越44,812,240円、H30繰越348,205,826円、R1現年1,154,650,000円）  決算額 603,573,407円（H29繰越44,812,240円、H30繰越92,743,150円、R1現年466,018,017円）  繰越額 919,840,020円（H30繰越246,721,020円、R1現年673,119,000円）</p>					
成 果		海岸保全施設整備事業と災害復旧事業を連携して実施することで防災機能の向上を図るものであるが、周辺の関連する他の事業と調整が整ったものから段階的に工事を実施し、進捗を高めることができた。					
成果に係る評価		本事業は平成25年度から実施しているが、事業内容が災害復旧事業や背後地で計画されている他の事業との関連性が大きく、調整に期間を要することから、それらの整備計画が整ったものから段階的に実施してきた。 今後も引き続き災害復旧事業と併せて海岸保全施設の整備を進め、防災機能の向上を図る必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	627,828,046	603,573,407	287,765,000		7,888,000	307,920,407	

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																																																																			
	3 項	水産業費		第 節		( 1 )	海とともに生きる																																																																																			
	6 目	東日本大震災関係費		( )		( 2 )	漁港及び魚市場の復旧・復興																																																																																			
実施計画掲載ページ		P197	中 事 業		水産物放射性物質対策事業費																																																																																					
事業コード		003-102-003-00421	事 業 名		放射能風評被害対策事業																																																																																					
目的及び事業内容		<p>東京電力福島第一原発事故の影響に伴う放射能問題について、魚市場を流通する主要な魚種のスクリーニング検査を行い検査結果を迅速に公表することにより、魚市場等で水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定した流通を図る。</p> <p>放射能物質測定機器等の風評被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易測定器による放射能検査の実施</li> <li>・放射能情報共有システムによる情報配信</li> </ul>																																																																																								
取組実績		<p>1 放射能検査の実施及び放射能情報共有システムの運用</p> <p>本市では、各魚市場や水産業界と連携し、「石巻から100ペクレル超えの水産物を流通させない。」を目標に掲げ、検査体制を維持し、スクリーニング分析の強化に取り組んでいる。また、これまでの放射性物質検査で得られた測定結果や海域情報などの各種情報を石巻魚市場を利用する卸売人・買受人等の水産業界関係者で体系的に共有し、放射能対策への意識向上と風評被害対策として放射能情報共有システムを運用している。</p> <p>(1) 令和元年度決算 18,352千円  (2) 令和元年度実績 年間検査検体数 1,132検体検査済み  (うち精密検査実施目安50ペクレル超過 0検体)</p> <p>※ 本市水産物の放射性物質検査体制（令和2年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器台数</th> <th>検査時間</th> <th>検査日</th> <th>検査能力</th> <th>検査人員</th> <th>検査対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻売場</td> <td>5台</td> <td>4:00~12:00</td> <td>市場開場日</td> <td>50検体/日</td> <td>2名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>牡鹿売場</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> <tr> <td>北上総合支所</td> <td>1台</td> <td>9:00~16:00</td> <td>月~金</td> <td>7検体/日</td> <td>1名</td> <td>水揚げ水産物等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 放射能情報共有システムによる情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外海域における水産物の水揚げ自粛等情報配信</li> <li>・日々の放射性物質測定結果速報の配信</li> </ul>						設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象	石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等	牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等	北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																							
設置場所	機器台数	検査時間	検査日	検査能力	検査人員	検査対象																																																																																				
石巻売場	5台	4:00~12:00	市場開場日	50検体/日	2名	水揚げ水産物等																																																																																				
牡鹿売場	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																				
北上総合支所	1台	9:00~16:00	月~金	7検体/日	1名	水揚げ水産物等																																																																																				
成 果		<p>本事業で放射性物質測定を実施することにより、宮城県内で最も充実した検査体制を備えた産地魚市場として水揚げされる水産物の安全性の確保及び安定的な流通が図られた。</p> <p>1 市場流通数（魚種）及び年間検査検体数（検体）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H23</td> <td>120魚種</td> <td>71魚種</td> <td>59%</td> <td rowspan="2">H28</td> <td>80魚種</td> <td>76魚種</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>2,000検体</td> <td>441検体</td> <td>22%</td> <td>4,000検体</td> <td>3,736検体</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H24</td> <td>120魚種</td> <td>119魚種</td> <td>99%</td> <td rowspan="2">H29</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,239検体</td> <td>105%</td> <td>4,000検体</td> <td>2,861検体</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H25</td> <td>120魚種</td> <td>92魚種</td> <td>77%</td> <td rowspan="2">H30</td> <td>80魚種</td> <td>69魚種</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>5,906検体</td> <td>118%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,759検体</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H26</td> <td>120魚種</td> <td>121魚種</td> <td>101%</td> <td rowspan="2">R1</td> <td>80魚種</td> <td>55魚種</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,858検体</td> <td>97%</td> <td>4,000検体</td> <td>1,132検体</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H27</td> <td>120魚種</td> <td>63魚種</td> <td>53%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5,000検体</td> <td>4,103検体</td> <td>82%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率	目標値	実績	目標値	実績	H23	120魚種	71魚種	59%	H28	80魚種	76魚種	95%	2,000検体	441検体	22%	4,000検体	3,736検体	93%	H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,239検体	105%	4,000検体	2,861検体	72%	H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%	5,000検体	5,906検体	118%	4,000検体	1,759検体	44%	H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%	5,000検体	4,858検体	97%	4,000検体	1,132検体	28%	H27	120魚種	63魚種	53%					5,000検体	4,103検体	82%				
区分	成果指標		達成率	区分	成果指標		達成率																																																																																			
	目標値	実績			目標値	実績																																																																																				
H23	120魚種	71魚種	59%	H28	80魚種	76魚種	95%																																																																																			
	2,000検体	441検体	22%		4,000検体	3,736検体	93%																																																																																			
H24	120魚種	119魚種	99%	H29	80魚種	69魚種	86%																																																																																			
	5,000検体	5,239検体	105%		4,000検体	2,861検体	72%																																																																																			
H25	120魚種	92魚種	77%	H30	80魚種	69魚種	86%																																																																																			
	5,000検体	5,906検体	118%		4,000検体	1,759検体	44%																																																																																			
H26	120魚種	121魚種	101%	R1	80魚種	55魚種	68%																																																																																			
	5,000検体	4,858検体	97%		4,000検体	1,132検体	28%																																																																																			
H27	120魚種	63魚種	53%																																																																																							
	5,000検体	4,103検体	82%																																																																																							
成果に係る評価		<p>市内魚市場等から基準を超える水産物を流通させないための検査を実施することができた。</p> <p>国の検査対象魚種は年々減少傾向にあるものの、国内（関西以南）や国外における風評被害は依然残存している。特に、国外においては現在も20カ国が日本産食品の輸入規制を行っており、引き続き風評被害の払拭に努めるべきであるが、今後は検体数の減少に伴い検査体制の集約や検査時間の縮小等の事業見直しが必要である。</p>																																																																																								
（単位：円）																																																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																				
	19,685,000	18,352,419				18,352,419																																																																																				

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる										
	3 項	水産業費		第 節		( 1 )	海とともに生きる										
	6 目	東日本大震災関係費		( )		( 3 )	被災水産業への再建支援										
実施計画掲載ページ		P198	中 事 業		水産業復興対策費												
事業コード		003-103-001-00690	事 業 名		水産業共同利用施設整備支援事業〔復興基金〕												
目的及び事業内容		<p>被災した漁業者の本格的な復旧を目的に、操業に必要とする施設の整備を支援。漁業協同組合等が整備する共同利用施設のうち、かき処理場等の本格的な施設を復旧する場合で、国の「水産業共同利用施設復旧整備事業」を活用した事業を対象とする。事業費から国県補助金その他助成金を差し引いた額の3分の1以内を限度に補助するもの。</p>															
取組実績		<p>1 令和元年度事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助申請団体</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> <th>市補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県中部施設保有漁業協同組合</td> <td>1</td> <td>134,400,000円</td> <td>7,466,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考	宮城県中部施設保有漁業協同組合	1	134,400,000円	7,466,000円	
補助申請団体	件数	事業費	市補助金額	備考													
宮城県中部施設保有漁業協同組合	1	134,400,000円	7,466,000円														
成 果		<p>浜浜及び福貴浦の共同利用施設の復旧整備に係る経費の一部を補助し、養殖等沿岸漁業の再開を支援した。</p>															
成果に係る評価		<p>国・県と連携し、本事業により水産業共同利用施設の復旧整備を支援することで、被災した漁業者による漁業活動の早期再開や負担軽減が図られ、水揚げ量の回復につながっているため、補助金制度が続く限り、同事業により支援を行っていく。</p>															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	7,572,000	7,466,000			112,624	7,353,376											

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	3 項	水産業費				( 1 )	海とともに生きる						
	6 目	東日本大震災関係費				( 3 )	被災水産業への再建支援						
実施計画掲載ページ		P199	中 事 業		水産業復興対策費								
事業コード		003-103-002-00952	事 業 名		漁業活動ソーラー照明設置事業〔復興交付金〕								
目的及び事業内容		<p>漁業活動の多くは夜間や早朝の暗い時間帯に行われるため、漁港には照明設備が必要不可欠である。震災により漁港内の照明設備が使用不能となったことから、漁業者の作業効率と安全を確保するため、照明を設置するもの。</p> <p>なお、有事の際に非常照明として機能するよう、停電の影響を受けないソーラー式LED照明を設置する。</p>											
取組実績		<p>1 令和元年度事業実績</p> <p>(1) ソーラー式LED照明移設事業</p> <p>漁港の復旧工事により、漁業者が照明を必要とする場所が変わることから、使用状況に合わせて照明灯を移設したのも。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>移設箇所数</th> <th>移設灯数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>7</td> <td>1,424,520 円</td> </tr> </tbody> </table>						移設箇所数	移設灯数	事業費	3	7	1,424,520 円
移設箇所数	移設灯数	事業費											
3	7	1,424,520 円											
成 果		<p>本市の漁港については、東日本大震災による被害の程度が大きく、現在も復旧途中であるものの、復旧が完了し、本設置が可能となった場所については、ソーラー式照明灯の移設を行い、漁業者が必要とする場所に明かりを提供した。</p>											
成果に係る評価		<p>必要な場所への明かりの提供により、震災後の照明灯がない状態での海への転落、転倒事故がなくなり、安全な漁業活動が行われている。また、各浜の実情に合わせて設置をしており、作業効率の向上が図られている。</p> <p>今後も、漁業者の安全と作業の円滑化を図るため、漁港の復旧に合わせて移設するとともに、必要箇所への追加設置を行う。</p>											
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	11,425,000	1,424,520			1,068,000	356,520							

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章	復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																														
	3 項	水産業費				( 1 )	海とともに生きる																														
	6 目	東日本大震災関係費				( 3 )	被災水産業への再建支援																														
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		水産業復興対策費																																
事業コード		003-103-002-01190	事 業 名		水産業従業員宿舎整備事業〔復興基金〕																																
目的及び事業内容		<p>東日本大震災により被害を受けた本市の基幹産業の水産業の生産能力向上のため、中小水産業者等が実施する従業員確保(外国人実習生含む)のための宿舎整備を宮城県と協調して支援することにより、水産業の復興を促進するもの。</p> <p>従業員の宿舎を整備するため、宮城県が実施する「水産業従業員宿舎整備事業費補助金」に対する嵩上げ補助を行うもの。</p>																																			
取組実績		<p>1 令和元年度事業実績</p> <p>宮城県の公募事業に採択された事業者のうち石巻市内の事業者が6者あり、令和元年度内に3者完了し補助金を交付した。完了できなかった3者については、令和2年度へ繰越しとなった。</p> <p>また、平成30年度に採択され令和元年度へ繰越しとなっていた10者については、事業が完了し10者全てに補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>交付決定</th> <th>事業完了</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6者</td> <td>3者</td> <td>72,433,900円</td> <td>16,762,225円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>10者</td> <td>10者</td> <td>308,321,928円</td> <td>72,028,750円</td> <td>繰越分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16者</td> <td>13者</td> <td>380,755,828円</td> <td>88,790,975円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(次年度繰越分)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>事業費</th> <th>補助金交付決定額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>105,168,770円</td> <td>24,857,192円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考	令和元年度	6者	3者	72,433,900円	16,762,225円		平成30年度	10者	10者	308,321,928円	72,028,750円	繰越分	合計	16者	13者	380,755,828円	88,790,975円		年度	事業費	補助金交付決定額	令和元年度	105,168,770円	24,857,192円
年度	交付決定	事業完了	事業費	補助金額	備 考																																
令和元年度	6者	3者	72,433,900円	16,762,225円																																	
平成30年度	10者	10者	308,321,928円	72,028,750円	繰越分																																
合計	16者	13者	380,755,828円	88,790,975円																																	
年度	事業費	補助金交付決定額																																			
令和元年度	105,168,770円	24,857,192円																																			
成 果		<p>東日本大震災により被害を受けた本市水産業の雇用回復のため、中小の水産事業者等が従業員(外国人実習生含む)確保のための宿舎整備に対し、平成27年度から、宮城県が補助事業を実施している。本市においても嵩上げ補助を実施することで、事業者の負担が軽減され、本事業の利用が促進され、水産事業者の雇用環境が整備された。</p>																																			
成果に係る評価		<p>震災後の水産加工業従業員の確保が課題となっており、平成30年の市内水産加工事業所の従業員数は2,555人で、震災前と比較し半数程度に落ち込んでおり、加工品生産数量も75,408トンと、震災前の数量には及ばない状況である。</p> <p>これらを回復するため、各事業者においても努力しているところであり、雇用不足の解消として外国人技能実習生を受入している企業が多い。受入のためには宿舎が必要であるが、自社の宿舎を整備することにより、生活環境の充実と住環境にかかる経費の軽減が図られている。</p> <p>令和元年度は6社を採択し、事業開始から累計で36社を採択しており、本市水産業の雇用対策と経営安定化に資するものとなっている。</p>																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	88,796,525	88,790,975			88,790,975																																

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	( )	
	3 項	水産業費		第 節			( )	
	6 目	東日本大震災関係費		( )			( )	
実施計画掲載ページ			中 事 業	さけ人工ふ化場整備事業費				
事業コード			事 業 名	さけ人工ふ化場整備事業〔復興交付金〕				
目的及び事業内容		<p>稚魚を放流して数年後に漁獲する「さけ」は、沿岸漁業の重要な収入源となっており、さけ人工ふ化場で生産した稚魚の放流が地域の漁業者の漁獲を支えてきた。しかし、牡鹿・後川、雄勝・大原川の両ふ化場は震災で壊滅的な被害を受け、後川は他のふ化場より稚魚を移入し放流しており、大原川は応急復旧し、放流しているが、安定的な生産が難しい状況であるため、津波で甚大な被害を受けたさけ人工ふ化場の復旧整備を行うもの。</p> <p>ふ化場を本復旧させることで、本施設で生産した稚魚を放流し、安定した漁獲量に戻すことで、被災した漁業者の生業の再生を図る。</p>						
取組実績		<p>1 後川さけ人工ふ化場整備事業</p> <p>(1)後川さけ人工ふ化場整備工事 事故繰越となっていた後川さけ人工ふ化場の整備工事が令和元年6月に完了した。 契約額：391,478,400円 支出額：222,458,400円 工 期：平成29年12月8日～令和元年6月28日</p> <p>(2)後川さけ人工ふ化場整備工事監理業務 後川さけ人工ふ化場整備工事に係る監理業務。 契約額：7,508,160円 支出額：7,508,160円 工 期：平成29年12月13日～令和元年7月12日</p> <p>2 大原川さけ人工ふ化場整備事業</p> <p>(1)大原川さけ人工ふ化場整備工事 繰越明許となっていた大原川さけ人工ふ化場の整備工事が令和2年3月に完了した。 契約額：517,717,260円 支出額：172,835,300円 工 期：平成30年6月15日～令和2年3月25日</p> <p>(2)大原川さけ人工ふ化場整備工事監理業務 大原川さけ人工ふ化場整備工事に係る監理業務。 契約額：8,956,000円 支出額：8,956,000円 工 期：平成31年2月28日～令和2年3月27日</p> <p>(3)大原川さけ人工ふ化場送水管工事 台風19号により被災した大原川さけ人工ふ化場の井戸送水管を再敷設する工事。 予算額：23,000,000円を令和2年度へ繰越明許 支出額：0円</p>						
成 果		後川さけ人工ふ化場施設は令和元年6月に、大原川さけ人工ふ化場施設は令和2年3月にそれぞれ完成した。 大原川さけ人工ふ化場の井戸送水管については、令和元年10月の台風19号の被害により再敷設工事が必要となったことから、予算の繰越明許により令和2年秋のさけふ化事業開始までに整備できるよう工事を進めていく。						
成果に係る評価		沿岸での定置網や刺し網で漁獲される「さけ」は漁業者の重要な収入であるものの、近年、漁獲量が減少しているため、本事業による施設の本復旧により、健康な稚魚を生産し、放流することで、回帰率の向上、水揚げ量の増加につなげていく。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	414,084,400	411,757,860			309,192,000	102,565,860		

予算科目	6 款	農林水産業費	総合計画	第 章		復興計画	( 3 )	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																													
	3 項	水産業費		第 節			( 1 )	海とともに生きる																																													
	6 目	東日本大震災関係費		( )			( 3 )	被災水産業への再建支援																																													
実施計画掲載ページ			P198	中 事 業	水産業復興対策費																																																
事業コード		003-103-001-01278	事 業 名	番屋等施設整備事業〔復興交付金〕																																																	
目的及び事業内容		<p>東日本大震災前に、漁港区域や漁業集落地に所在した番屋機能（集会施設、共同作業場、民間所有の番屋など）が震災により消失したため、漁業の合間の休憩・トイレや、漁業に関する情報共有のための会議を行う場所がなく漁業活動に支障をきたしていることから、休憩、共同作業、会議等を行うことができる番屋等の整備を行うもの。</p>																																																			
取組実績		<p>1 令和元年度事業実績 令和元年度中に10棟の工事請負契約を締結し、6棟の番屋等施設が完成した。完成できなかった5棟は、令和2年度へ繰越となった。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番屋名</th> <th>設備</th> <th>進捗状況</th> <th>工事請負額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名振番屋</td> <td>番屋</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小浜番屋</td> <td>トイレ</td> <td>工事契約済</td> <td rowspan="2">31,211,400円</td> </tr> <tr> <td>船越番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>工事契約済</td> </tr> <tr> <td>大須番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>完成</td> <td>17,460,300円</td> </tr> <tr> <td>熊沢番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>完成</td> <td>17,228,640円</td> </tr> <tr> <td>立浜番屋</td> <td>番屋</td> <td>完成</td> <td>12,525,700円</td> </tr> <tr> <td>寄磯浜番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>完成</td> <td>16,141,400円</td> </tr> <tr> <td>前網浜番屋</td> <td>トイレ</td> <td>完成</td> <td rowspan="2">19,811,000円</td> </tr> <tr> <td>鮫浦番屋</td> <td>番屋</td> <td>完成</td> </tr> <tr> <td>菰浜番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>工事契約済</td> <td rowspan="2">40,097,200円</td> </tr> <tr> <td>仁斗田番屋</td> <td>トイレ付番屋</td> <td>工事契約済</td> </tr> </tbody> </table>							番屋名	設備	進捗状況	工事請負額	名振番屋	番屋			小浜番屋	トイレ	工事契約済	31,211,400円	船越番屋	トイレ付番屋	工事契約済	大須番屋	トイレ付番屋	完成	17,460,300円	熊沢番屋	トイレ付番屋	完成	17,228,640円	立浜番屋	番屋	完成	12,525,700円	寄磯浜番屋	トイレ付番屋	完成	16,141,400円	前網浜番屋	トイレ	完成	19,811,000円	鮫浦番屋	番屋	完成	菰浜番屋	トイレ付番屋	工事契約済	40,097,200円	仁斗田番屋	トイレ付番屋	工事契約済
番屋名	設備	進捗状況	工事請負額																																																		
名振番屋	番屋																																																				
小浜番屋	トイレ	工事契約済	31,211,400円																																																		
船越番屋	トイレ付番屋	工事契約済																																																			
大須番屋	トイレ付番屋	完成	17,460,300円																																																		
熊沢番屋	トイレ付番屋	完成	17,228,640円																																																		
立浜番屋	番屋	完成	12,525,700円																																																		
寄磯浜番屋	トイレ付番屋	完成	16,141,400円																																																		
前網浜番屋	トイレ	完成	19,811,000円																																																		
鮫浦番屋	番屋	完成																																																			
菰浜番屋	トイレ付番屋	工事契約済	40,097,200円																																																		
仁斗田番屋	トイレ付番屋	工事契約済																																																			
成 果		<p>【事業の進捗】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>完成実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>11棟</td> <td>6棟</td> <td>55%</td> </tr> </tbody> </table>							区分	成果指標		達成率	目標値	完成実績	R1	11棟	6棟	55%																																			
区分	成果指標		達成率																																																		
	目標値	完成実績																																																			
R1	11棟	6棟	55%																																																		
成果に係る評価		完成した番屋等施設が所在する漁業集落地における、漁業活動の環境改善が図られた。完成できなかった5棟についても、早期の完成に向け事業を継続する。																																																			
(単位：円)																																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
	98,890,064	98,890,064			79,088,000	19,802,064																																															